

発達障害を有する学生に対する 支援活動

— 平成19年度学生支援GP選定 —

プール学院大学

森定玲子・松久真実

はじめに

発達障害学生に対する修学支援の2つの
アプローチ

- 1) 学生相談: よりそう支援
- 2) 障害学生支援: つなげる支援

1. プール学院大学の概要

1) 設立: 1996年

(短期大学部英文科を改組転換)

2) 教育理念: キリスト教主義、異文化間協働

3) 学部構成: 1学部 国際文化学部

3学科 国際文化学科(60名)

子ども教育学科(80名)

英語学科(60名)



2. 学生支援GPの概要

学生支援GP「発達障害を有する学生に対する支援活動」(2007-2010年度)

1) 発達障害を有する学生を支援する。

→ 特別支援プログラム

2) 通常学級での特別支援教育を担う人材を養成する。

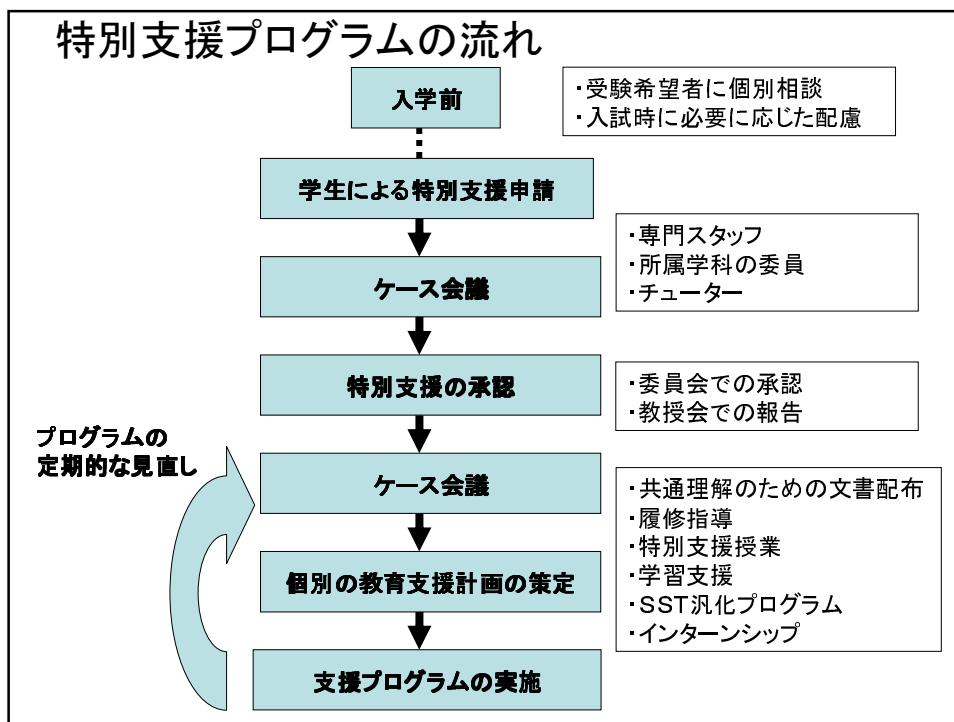
3) ユニバーサルデザインとしての学びの支援を構築する。

→ 学習支援プログラム

全学的な学生支援体制の構築

3. 特別支援プログラムの概要

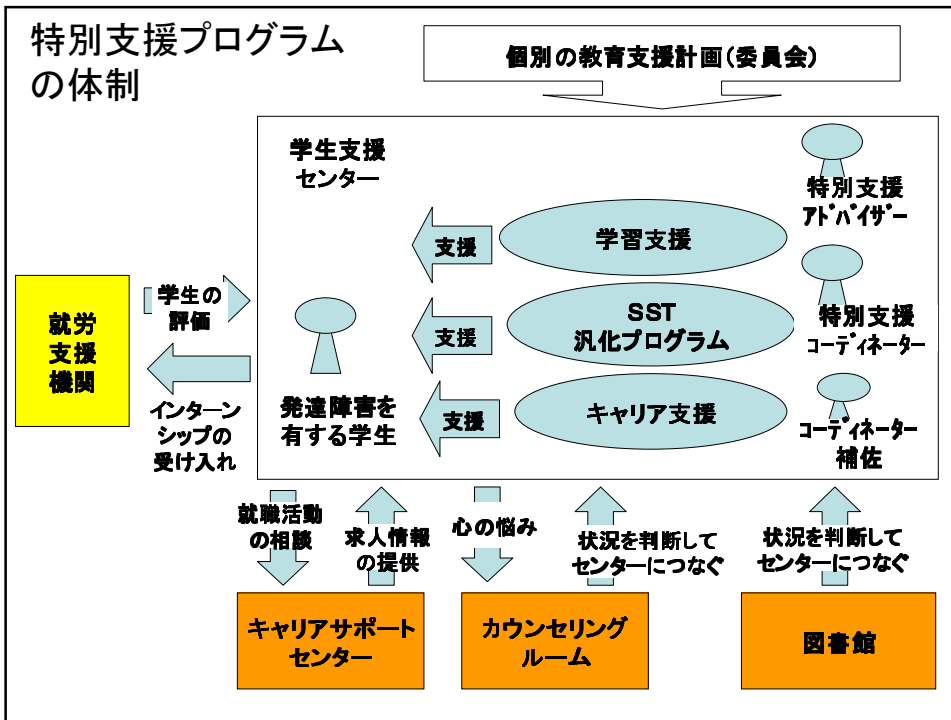
- 1) 入試から卒業まで一貫した支援プログラムを提供する
- 2) 学習の課題、対人関係の課題、メンタルヘルスの課題、進路の課題に対応する
- 3) 3つの支援レベル
- 4) 特別支援コーディネーターがキーパーソン
- 5) 「個別の教育支援計画」を策定する



3つの支援レベル

	支援内容	条件
特別支援	<ul style="list-style-type: none"> ・個別の教育支援計画の策定 ・共通理解のための文書配布 ・定期試験時の配慮 ・特別支援授業の履修 ・インターシップへの参加 ・SST汎化プログラムへの参加 ・教育相談 ・進路相談 	<ul style="list-style-type: none"> ・医師の診断書もしくは障害者手帳 ・保護者、本人も発達障害の疑いがあることを認め、申請書を提出している。 ・支援について当該学科会で承認を得ている。
準支援	<ul style="list-style-type: none"> ・個別の教育支援計画の策定 ・共通理解のための文書配布 ・定期試験時の配慮 ・特別支援授業の履修 ・SST汎化プログラムへの参加 ・進路相談 ・教育相談 	<ul style="list-style-type: none"> ・特別支援コーディネーターが保護者との面談、本人の発達検査に基づいて、発達障害の疑いがあり、支援が必要と判断する。 ・保護者、本人が支援の必要性があることを認め、承諾書を提出している。 ・支援について当該学科会で承認を得ている。
見守り	<ul style="list-style-type: none"> ・SST汎化プログラムへの参加 ・進路相談 ・教育相談 	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者、本人から、あるいはチューターから見守りの要請がある。 ・支援について当該学科会で承認を得ている。

特別支援プログラムの体制



学生支援センター

- 学生の修学や、視聴覚教材及びIT活用教育等の学習に関する総合的な学生支援を行うことをために設置。
- 学習エリア、PCエリア、DVDエリアの3つに分かれている。
- 学習エリアに専門スタッフが常駐している。



特別支援コーディネーターの役割

- 支援ニーズを把握し支援につなげる
- ケース会議の運営
- 個別の教育支援計画の作成
- 援助資源のコーディネーション
- 関係教職員への配慮要請、コンサルテーション
- カウンセリング(学生、保護者)
- 特別支援授業(「スタディスキル」「コミュニケーションスキル」)の担当
- 心理教育的アセスメントの実施
- 研修会の実施(学生対象、教職員対象)

4. 人材養成の概要

- 1)「特別支援教育」(教職関連科目)の導入
- 2)教職員の発達障害研修
- 3)学生に対する発達障害研修
- 4)学生支援SAIに対する研修
- 5)特別支援ピア・サポーター養成講座

特別支援ピアサポーター養成講座

- 特別支援教育に対する関心のある学生を、ピアサポーターとして養成し、発達障害学生のサポートの補助に携わらせ、卒業後のキャリアに役立たせることを目的としている。
- 3日間(計12コマ)の講座。
- 37名の学生が受講。



5. 全学的な支援体制構築に向けて

発達障害学生の修学支援の難しさ

- 本人の自己理解、保護者の理解
- 「障害」なのか「特性」なのか。
 - 「診断」より「本人の困り感」
 - 「本人の困り感」に真摯に耳を傾ける
- 「障害」のスペクトラム
 - 「障害学生支援」を包み込む
 - 全ての学生を対象とした支援体制が必要

学習支援プログラム

- 修学のための学習支援
- 基礎学力向上のための学習支援
- キャリア獲得のための学習支援
 - 学習支援機能の全学的な分担が求められる。

学生支援センター

- 支援ニーズを持つ全ての学生に関する相談を受けつける。
- 支援のコーディネーションを行う。
- 教職員のピアサポートとして機能している。

学生情報シート		
記入日	担当部署	記入者
月 日		
学生氏名		
学科・学年		
登録番号		
所属		

※ 学生支援センターに提出

おわりに

- 教職員レベルと学生レベルのダブル・ピアサポート体制を構築することが求められる。
- 学生支援センターに障害学生支援系、学生相談系、学習支援系の3つの機能を統合することが求められる。
- 授業改善(キャリアにつながる、わかりやすい)が求められる。